



チャレンジと、
コツコツ練習！

六栄小学校、腹赤小学校

井上 友綱 INOUE Tomotsuna

大阪府出身。早稲田大学時代はアメリカンフットボール部のクォーターバックとしてプレー。卒業後アメリカでアリーナフットボールリーグに加入、5年間プロとして活躍した。引退後の現在は会社を設立し、スポーツ選手をサポートしている。

体が大きかったので、「自分は練習しなくてもできる」と弱いチームで天狗になっていました。でも高校のアメフト部で、どうせなら試合に勝つためにチャレンジしようと、コツコツ練習を積み重ねました。それは自分を大きく変え、強豪校での活躍やアメリカのプロリーグ入りにつ

なりました。プロテストはなかなか合格できず、気がめいるときもありました。それでもできることは全て実行したので悔いはなく、良い経験がたくさん残りました。思っているだけでは現実には変わりません。一度決めたらチャレンジしましょう！

キ ャプテン翼に憧れて、プロのサッカー選手になるのが小学生のときからの夢でした。中学まで無名でしたが、高校は周囲の応援がありサッカーの名門校に合格。Jリーグが誕生し、プロになる夢が決意に変わりました。レギュラーから外れてもとにかく練習、上達が遅ければ倍の時間をかけました。プロになるという夢を叶えられたのは、絶対にあきらめなかったからです。努力に無駄はありません。また、家族やいろんな人が助けてくれました。感謝の気持ちを忘れず、次の夢を叶えたいと思います。

4日間ユメセンアシスタントを務めた元サッカー選手の安永聡太郎さん（右）



夢先生のメッセージを受けて、子ども達も自分の夢を発表しました。



「夢の教室」を実施しました！

子どもたちに、夢を叶える素晴らしさを伝えたい

11月12日から15日の4日間、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）が行う「夢の教室（ユメセン）」を、小学校5年生と中学校2年生を対象に実施しました。夢を実現させてきた「夢先生」が教壇に立ち、これまで困難を乗り越えてきた経験を語り、夢を持つ素晴らしさや努力を続ける大切さなどを伝えました。

小学生でゴルフを始めたときは周囲にゴルフ仲間はいませんでした。試合で多くの選手と出会い、「もっと広い世界を知りたい！」と、毎日ひたすら練習に打ち込みました。プロ時代は思いどおりの結果を残せず、悩んだ時期もありました。でも謙虚な気持ちで一打に集中するう

ちに心に余裕ができ、良いプレーができるようになりました。夢を叶えるためには、地味けどひたすら練習を続けること、これしかありません。支えてくれる家族など周囲への感謝の気持ちを忘れず、365日努力を続けましょう。



平瀬 真由美 HIRASE Mayumi

熊本市出身。高校時代に日本ジュニア選手権で史上初の優勝3連覇を果たした。卒業後はプロに転向、2000年に引退するまで19回優勝と2回の賞金女王の成績を残した。現在は4児の母で、解説やコーチとして活躍。



長洲小学校、清里小学校

「人と比べなくていい
昨日の自分より成長できたか？」

夢がないことは恥ずかしいことではありません。私はバスケットボール選手として7年間ほとんど試合に出られず、「家族に活躍を見せたい！」と初めて強く目標を持ちました。自分の力を伸ばし、苦手をどう克服するかを一生懸命考え、努力した経験から、自信と周囲からの信頼が生まれ、チャンスを掴むことができました。悩んで眠れないときも、やる前から無理と思わず、失敗していいからやろう！と行動しました。少しの練習だけでは変わりません。積み重ねが大事です。落ち込む時間はもったいない。努力をすれば必ず成長を自分の中で感じます。

川面 茜 KAWADURA Akane

宮崎県出身。高校時代はインターハイ・全国大会またU-18日本女子代表としてアジア選手権に出場。卒業後に実業団JOMOサンフラワーズへ加入。3年間キャプテンを務め、現役を引退するまでチームの12連覇中7回の優勝に貢献した。

